

高麗美術館 年表

※ 肩書は当時のものです

1987年

- 8月1日 高麗美術館設立準備会 設立
顧問 上田正昭
代表 鄭詔文
*財団法人認可にむけての活動を始める
鄭詔文コレクションの調査及び開館にむけての活動開始

1988年

- 1月19日 高麗美術館設立発起人会 開会
7月25日 理事長 鄭詔文
理事 有光教一
上田 正昭
岡部伊都子
司馬遼太郎
末本 徹夫
高山 寛
直木孝次郎
林屋辰三郎
森 浩一
鄭 喜 斗 (敬省略・五十音順)
- 10月25日 高麗美術館 京都市北区紫竹上岸町にて開館
館長 林屋辰三郎 就任
開館式および記念祝賀会(京都全日空ホテル)開催
『高麗美術館開館記念図録』発行
- 10月26日 高麗美術館開館記念前期展 (～89年3月25日まで)
「高麗・李朝の美」
- 12月27日 博物館法の規定に基づく「登録博物館」として,指定を受ける

1989年

- 1月1日 館報『高麗美術館』創刊号 発行
2月23日 理事長 鄭詔文 永眠
3月5日 第二代理事長 吳 連 順 就任
4月1日 高麗美術館開館記念後期展
「華やかなる李朝」 (～9月30日まで)
6月22日 高麗美術館開館記念展
「涼やかなる白磁」 (～8月27日まで)
10月5日 高麗美術館開館1周年記念展
「李朝民芸の美」 (～12月27日まで)
11月10日 高麗美術館研究所 京都市左京区岩倉西河原町に開設
研究所所長 有光 教一 就任
開設記念講演会
テーマ:「高麗美術の研究について」
講 師:有光 教一 研究所所長

1990年

4月20日 第1回 研究講座 開催
会 場：高麗美術館研究所（第17回まで）

1991年

10月3日 高麗美術館開館3周年記念特別展
「李朝染付－朝鮮王朝の青花白磁－」（～12月26日まで）
『朝鮮王朝の青花白磁－李朝染付－』発行

1992年

4月15日 佛教大学との提携講座始まる（第18回研究講座より）
会 場：佛教大学四条センター

1993年

12月25日 『蘇る朝鮮文化－高麗美術館と鄭詔文の人生－』発行
（備仲 臣道著 明石書店刊）

1994年

10月 7日 平安建都1200年記念特別展
「京都に伝わる朝鮮陶磁」（～11月27日まで）

10月15日 平安建都1200年記念事業①
特別講演会「蘇る平安京と朝鮮陶磁」
会 場：京都市国際交流会館イベントホール
講 師：堀内 明博先生 「京都出土の朝鮮陶磁」
上田 正昭理事 「蘇る平安京と渡来の文化」

10月26日 平安建都1200年記念事業②
フォーラム「京都と高麗茶碗」
会 場：京都全日空ホテル
挨 拶：林屋 辰三郎館長
瀬地山 湊子先生（NHKプロデューサー）
パネラー：脇田 修先生（大阪大学名誉教授）
久田 宗也先生（表千家宗匠）
金 巴 望（研究室長）
*高麗美術館職員による朝鮮王朝時代の茶礼再現

1995年

5月20日 『朝鮮通信使－善隣と友好のみのり－』発行
（上田 正昭編 高麗美術館企画 明石書店刊）

1996年

2月12日 司馬遼太郎理事 永眠

11月10日 『高麗美術館研究紀要第1号』創刊

1997年

- 5月14日 特別連続講座「高麗・李朝のやきもの」記念企画
「から国やきもの紀行（韓国窯跡や美術館・博物館を訪ねる旅）」
日時：5月14～18日 4泊5日
主催：から国やきもの紀行の会
後援：高麗美術館
旅行取扱：近畿日本ツーリスト
- 10月8日 財団法人名古屋国際センター「韓国フェスティバル」
特別展示「高麗・李朝の伝統美」（～12日まで）
会場：名古屋国際センター 四階展示室
監修：高麗美術館
- 11月26日 高麗美術館研究所、京都市北区紫竹上岸町へ移転
インターネットホームページ開設

1998年

- 2月11日 林屋辰三郎 館長 永眠
- 4月1日 第二代館長 上田 正昭 就任
- 3月29日 高麗美術館開館10周年記念特別企画
遺跡めぐり「朝鮮通信使の足跡を訪ねて」
日時：8月29日～30日 1泊2日
場所：岡山県牛窓～福山市鞆ノ浦
- 10月9日 高麗美術館開館10周年記念特別展
「高麗・李朝の美」（～12月24日まで）
* 記念事業の一環として、高麗美術館所蔵の
「刺繍花鳥図十曲屏風」への修復基金を募集
(7月末～12月末：総計6,375,000円)
- 10月11日 高麗美術館開館10周年記念特別講演会
「京都のなかの朝鮮文化」
会場：京都市国際交流会館イベントホール
「渡来文化を考える－文献史学から－」 上田正昭館長
「京都と朝鮮通信使」 仲尾宏先生(京都芸術短期大学教授)
「高麗の文化と茶道」 久田宗也先生(表千家宗匠)
「渡来文化を考える－考古学から－」 森浩一理事
- 10月24日 高麗美術館開館10周年記念特別講演会
「李朝屏風の様式と構造」
会場：京都市国際交流会館三階研修室
講師：馬場秀雄先生(装文化財保存修復室)
井溪明先生(堺市博物館学芸係長)
- 11月3日 高麗美術館開館10周年記念作陶展（～8日まで）
「現代と李朝の芸術性融合」
会場：京都市国際交流会館二階展示室
出品者：金正郁氏・竹中浩氏(賛助出品)
* 高麗美術館所蔵の李朝家具も同時出展
- 11月7日 高麗美術館開館10周年記念茶話会
会場：京都市国際交流会館
表千家久田宗也宗匠による茶会(和室別館)
講演会（二階 特別会議室）
講師：岡部伊都子理事
藤野 雅之先生(共同通信社出版本部長)

- 11月10日 『高麗美術館研究紀要第2号』 発行
- 11月13日 午前2時30分頃、高麗美術館で盗難事件発生。
一階に展示中の高麗・李朝の陶磁器15点が掠取され、
1点が破壊された。(～26日まで臨時休館)

1999年

- 2月28日 初代理事長 鄭詔文氏没後十周年
「鄭詔文氏を偲ぶ会」
会 場：京都全日空ホテル

2000年

- 1月26日 末本徹夫理事 永眠
- 7月 ホームページアドレス、Eメールアドレスの変更

2001年

- 4月 1日 館報『高麗美術館』 創刊50号記念特別号発行
- 5月19日 『有光教一著作集』 (全三巻) および
『朝鮮古蹟研究會遺稿』 発行記念祝賀会
「有光教一先生研究70年を祝う会」
共 催：財団法人東洋文庫
ユネスコ東アジア文化研究センター
会 場：京都国際ホテル

2002年

- 11月10日 『高麗美術館研究紀要第3号』 発行

2003年

- 9月 6日 野村美術館平成15年秋季特別展
「高麗茶碗展」へ館蔵品貸出 (～10月26日まで)
- 10月 5日 和泉市久保惣記念美術館特別展
「灯火器－東アジアのあかりの歴史」へ館蔵品貸出
(～11月24日まで)
- 10月12日 高麗美術館開館15周年記念イベント
『お話しと朝鮮音楽のひととき』
お話し：上田正昭館長
「高麗美術館と私－開館15周年を迎えて」
音楽演奏：金剛山歌劇団 器楽部
ソヘグム…尹慧瓊／チャンゴ…河栄守
チョッテ…姜年浩／カヤグム…金栄実
(演目) 『春香伝』より「恋民歌(愛の歌)」
「銀河と鳳凰」
「アンタン散調」 ほか
- 10月25日 高麗美術館開館15周年記念
『高麗美術館蔵品図録』 刊行

2004年

- 11月10日 『高麗美術館研究紀要第4号』発行
- 11月10日 来館者10万人目を迎える
韓国精神文化研究院(現韓国学中央研究院)教授
姜仁求氏より蔵書(約3,000冊)の寄贈、受入

2005年

- 9月6日 韓国ソウル市立歴史博物館・日本民藝館共同主催
日韓友情年記念特別展 「うれしい朝鮮民画」
(会場：ソウル市立歴史博物館)へ館蔵品貸出 (～10月30日まで)
- 10月2日 和泉市久保惣記念美術館
特別展「アニマルランド 東アジアの美術に見る動物表現」
へ館蔵品貸出 (～11月27日まで)

2006年

- 9月15日 蘭島文化振興財団 松濤園「朝鮮通信使の来日と文化の交流展」
へ館蔵品貸出 (～11月17日まで)
- 10月3日 韓国ソウル・国立中央博物館特別展示室
「秋史金正喜の生涯と芸術世界」に館蔵品貸出 (～11月19日まで)
- 11月5日 『有光教一先生白寿記念祝賀会』
会場：京都宝ヶ池プリンスホテル末広の間
- 11月10日 『有光教一先生白寿記念論叢』 (高麗美術館研究紀要第5号) 発行

2007年

- 3月2日 主催企画旅行
「晋州・光州・ソウルー韓国芸術の旅」
日時：3月2日～6日 4泊5日
旅行取扱：(株)日本旅行 関西企画旅行支店
現地：(株)東宝旅行社 ソウル支店
- 3月26日 韓国ソウル・仏教中央博物館開館記念展
「韓国仏教1700年 三宝特別展Ⅰー仏」
へ館蔵品貸出(～5月24日まで)
- 4月28日 朝鮮通信使・400年記念特別展関連イベント
「誠心のまじわりー通信使の息吹」
会場：京都市国際交流会館イベントホール
記念公演…朝鮮民俗芸能 サムルノリ
雨森サムルノリチーム「すずらん」(滋賀県高月町)
記念対談…「朝鮮通信使来日四百年の歴史的意義」
上田正昭館長(京都大学名誉教授)
仲尾 宏先生(高麗美術館評議員・京都造形芸術大学客員教授)
映画上映…ドキュメンタリーフィルム
「江戸時代の朝鮮通信使」(1978年、カラー50分)
『高麗美術館図書総目録』完成
- 7月14日 島根県立古代出雲歴史博物館「石見銀山展」へ館蔵品貸出
(～9月24日まで)

10月20日
11月18日
12月15日

秋季企画展「朝鮮王朝の青花白磁」関連イベント
ワークショップ「やきもの絵付け体験」